

平成29年度 第5回政策推進会議報告

日 時 7月19日 9時30分～10時32分

場 所 4-1会議室

出席者 23人

1 「(仮称)尼崎市自転車のまちづくり推進計画」の策定に係る「基本情報」及び「政策形成プロセス計画書」の公表について

危機管理安全局長から資料に基づき報告。

2 平成28年度企業会計決算の概要について

(1) 水道事業会計及び工業用水道事業会計

水道事業管理者から資料に基づき報告。(以下、質疑等)

(森山副市長) 31年度にビジョンを作るのか。

今年度に骨格を定めて、30年度秋ごろから公営企業審議会を開催、31年度に完成したいと考えている。

(森山副市長) 上水は費用で受水費が5割弱を占める。自己水源だけではなく阪神水道との絡みがあり、今後の取組みが見えにくい。

阪神水道については、猪名川浄水場のダウンサイズを視野に入れて取り組んでいるところである。それに伴う受水費用の負担減について、阪神水道と構成市で協議を行っており、神崎浄水場の施設能力にも関わってくるので、今年度中に方向性をまとめたい。

(森山副市長) そういう意味では、32年度からのビジョンは大きな内容になりそうに思う。

これまでは右肩上がりないし維持ということであったが、人口の減に伴う収益の減を踏まえ、将来像を明確に示していかないといけないと考えている。

(森山副市長) 上水については広域化や他事業者との連携によるダウンサイズという大きな話がある。工業用水道についても他事業者との連携を図ろうとしているのか。

工業用水道も大きな転換期にある。設備投資から50年ほどが経過し、それぞれの更新の時期を迎えている。そこで、先ほど話のあった阪神水道の猪名川浄水場や西宮・伊丹と共同の園田配水場を今後どうしていくか等についても、上水と同じく次のビジョンで明確に示せるよう調整しているところである。

(森山副市長) 28年度決算においては、上水では阪神水道へ宝塚が加入したことによる特別利益、工業用水道では旧北配水場跡地の売却による特別利益があるため、決算額のみを見るとよく見えるが、通常ベースで言えば両事業とも厳しいというのが重要だと思う。

一時的な収入を除くと27年度とほぼ変わっておらず、給水収益だけを見ると微減であり厳しい状況である。

(市長) 宝塚も西宮も、自己水源を縮小し阪神水道の比率を上げていくという動きになっている。尼崎も次の施設更新をどうするかという大きな岐路に立っていると言える。

これから収益の減は避けられないので、経営規模の縮小や職員の減も当然必要になってくる。

その時にどう経営していくかが次期ビジョンでの大きな課題である。
(市長) 複数パターンのシミュレーションをしていただき、中間報告をお願いしたい。

(2) 下水道事業会計

都市整備局長から資料に基づき報告。(以下、質疑等)

- ・本市の下水道使用料は県下でかなり低いほうだったと記憶しているが、使用料はいつから改定していないのか。また、料金改定に向けてビジョンを変更するような予定はあるか。
使用料は平成 15 年度から変えていない。国等の動向に記載した事項は日経新聞に掲載されたものであるが、ただちに実施される状況ではないため、後期 5 カ年のビジョンに料金改定を盛り込む考えは今のところ持っていない。

(3) モーターボート競走事業会計

公営事業局長から資料に基づき報告。(以下、質疑等)

- ・今後の取組みで「地域振興への貢献」とあるが、具体的に何かあるのか。
今までもやってきたことにはなるが、例えば災害時の避難場所としてご活用いただくなど、市民の皆さんにもっと身近に感じていただくような取組みをしていきたい。
 - ・活用というのは何か媒体を使って P R していくのか。
地区祭りに参加し資料を掲出したり、ショッピングモール等でも周知していきたい。
- (市長) 施設がかなり老朽化しており、場内全体の整備計画がある。ファミリー層にも来てもらえるような施設にするという方向性で検討していただきたい。

3 その他

ひと咲きまち咲き担当局長から、「みんなのサマーセミナー2017」について説明。

ひと咲きまち咲き担当局長から、「みんなの尼崎大学」の入学願書の配布について説明。(以下、質疑等)

(市長) みんなの尼崎大学の学生証を提示すればサービスを受けられるようになるが、消防団応援のお店など、他の事業でも同じような取組がある。個別に企業や店舗をお願いにあがるのではなく、一覧にして選んでもらえるようにするなど、庁内で連携してほしい。

今後調整する。

(市長) 定例記者会見でこの件を発表したところ、学生証を持っていれば講座に出ていなくても特典を受けられるのかという質問を受けた。それはそのとおりだが、地元のお店に行くことで面白い人に出会ったりパンフレットを見たりということも学びの機会となるので、固いことを言わず、盛り上がるようにしたい。みんなの活躍ぶりをまとめた冊子などを置いてもらって読めるようにしても面白いかもしれない。

ひと咲きまち咲き担当局長から、「あまらぶ i+Plus」「尼崎城プロジェクト」コラボアンケートの実施について説明。

ひと咲きまち咲き担当局長から、「A-Lab Exhibition Vol.9」の開催について説明。

ひと咲きまち咲き担当局長から、尼崎観光交流ガイド「あまらぶ」(2017-2018)の発行について説明。(以下、質疑等)

(市長) 忍たまの地名めぐりのページや小林さんのドローン写真のページなどとても良い。これまでには他都市との差別化があまりできていなかったが、今回は読み物としてとても面白いものができている。ぜひ皆さんに活用してほしい。

経済環境局から、「あまがさき産業フェア 2017」「技能フェスティバル」について説明。

危機管理安全局長から、「尼崎市自転車のまちづくりフォーラム」について説明。(以下、質疑等)

(市長) これはサマーセミナーの一部にすればよかったと思う。プラットフォームとしてサマーセミナーを使ってもらい広めていきたい。同一チャンネルの案内方法では集まらない人が会場にはたくさん集まっているので、いつもと違う人に聞いてもらえる。また、自転車の話を聞きに来た人が空き時間に他の講座に参加するなど、そういう学びの広がりも期待できる。内容によるとは思うが、来年からは日程・会場等合わせていただきたい。

市長から、三反田踏切と七松踏切における四輪駆動車の通行禁止の正式決定について報告。

以 上